

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡市緑の基本計画見直し事業			事業コード	2406
担当課等	所属名	都市整備部 公園みどり課	担当係名		
	課長名	都市整備部 公園みどり課	担当者名	中沢 良	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	うるおいのある公園・街路樹の確保	コード 4
	基本事業	スペースの確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 8款 4項 7目 都市公園整備事業(単独) (022-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (20年度 ~ 23年度)					
事務事業の概要	平成13年6月に策定した「緑の基本計画」を、景観法の施行や都市緑地法の改正、玉山村との合併、人口等社会状況の変化等と整合する計画とするため、計画の中間年次(平成22年度)で見直しを行う。 <具体的な事務事業のやり方、手順、詳細> ・現計画策定時と同様、「緑の基本計画策定(改訂)懇話会」を組織し、助言等をいただきながら現計画の見直しをする。 ・庁内関係課による検討会議を組織し、検討を行う。 ・平成20年度は上位計画や関連計画、他都市の資料収集を行う。 ・平成21年度はアンケート調査による市民の緑に関する意向調査を行う。調査結果等を基に課題を整理し、緑地の配置方針や緑地の保全及び緑化の推進のための施策、「何を、何から取り組むのか。どのように具体化するのか。」を明確にした実施計画(アクションプログラム)等を検討する。 ・平成22年度は平成21年度までに検討・策定した結果を案としてまとめ、懇話会に諮るとともに広く市民に公表し、意見を募る。そして意見を基に案を修正し、「緑の基本計画(改訂版)」を策定する。 ・平成23年度は策定された「緑の基本計画(改訂版)」に示された施策の進行管理を行う。また、「緑のまちづくり協議会」の設立に向けた準備として「緑が文化になるまち盛岡緑の交流広場」を開催する。					
根拠法令等	都市緑地法第4条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
景観法の施行(平成16年)、都市緑地法等の改正(平成16年)、玉山村との合併(平成18年)、人口等社会状況の変化等を勘案し、計画の中間年次(平成22年度)において見直すことで実情に合った計画とするため。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
総合公園の早期整備、既存公園施設の維持管理や再整備に係る要望のほか、北上川、中津川、雫石川の河川敷の整備及び街路樹の維持管理に関する要望が多数寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成16年度の景観緑三法の成立に伴い、都市緑地法や都市公園法等の関係法令が大幅に改正されたほか、関連する新制度も創設されたことから、これからの変化はごくわずかと思われる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	緑の基本計画	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 緑地の配置方針や緑地の保全及び緑化の推進のための施策	単位	施策
				B. アクションプログラムに位置付けられる事業・取り組み	単位	件
				C. 緑化重点地区	単位	地区
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・緑の基本計画策定(改訂)懇話会の開催 ・緑の基本計画庁内ワーキンググループ会議の開催 ・パブリックコメントの実施 ・説明会の実施 ・他機関への諮問 ・計画書の製本 ・パンフレットの作成 ・ホームページの更新 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・緑の基本計画施策実施状況調査 ・「緑が文化になるまち盛岡緑の交流広場」の開催運営	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 緑の基本計画懇話会開催回数	単位	回
				B. 緑の基本計画庁内ワーキンググループ会議開催回数	単位	回
				C.	単位	部
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	関連法令に整合し、実情に合った計画とするとともに実行性の高い計画とする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 目標スケジュールに対する進捗状況 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	

⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	交流空間が確保されている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	1人当たりの公園等面積(単位:m ² /人) 公園数(単位:箇所)
---------------------------------------	--------------	---	--------------------------	---

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	緑地の配置方針や緑地の保全及び緑化の推進のための施策	施策	85	85	85	85	90	90	22年度 85
対象 指標B	アクションプログラムに位置付けられる事業・取り組み	件	-	0	120	141	141	141	22年度 120
対象 指標C	緑化重点地区	地区	-	3	4	3	4	4	22年度 4
活動 指標A	緑の基本計画懇話会開催回数	回	0	2	3	3	1	1	22年度 3
活動 指標B	緑の基本計画庁内ワーキンググループ会議開催回数	回	0	2	3	1	0	0	22年度 3
活動 指標C		部							年度
成果 指標A	目標スケジュールに対する進捗状況	%	100	100	100	100	-	-	22年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	192	568	568	696	696	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	192	568	568	696	696	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	192	568	568	696	696	*****
	延べ業務時間数	時間	2,000	4,000	4,000	4,000	2,000	2,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	8,000	16,000	16,000	16,000	8,000	8,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,000	16,192	16,568	16,568	8,696	8,696	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 本事業は、緑地の配置方針や緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画の見直しであり、オープンスペースの確保、公共空間や私的空間の緑化推進に結びつくものである。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 盛岡市として、緑地の配置方針等を定めるものであり、また、本計画に緑化重点地区を定めることで国の補助金を導入できるため。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市域全域を対象としており、妥当である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 市域全体を対象としており、市関係部署の緑に関する事業を網羅するため。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 市民意見を反映するためのパブリックコメントや説明会、専門的な見地からの意見いただくための懇話会、庁内関係課の意見を計画に反映するためのワーキンググループ会議などを適時適切に実施することとしており、これ以上成果が向上する余地はない。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: オープンスペースの確保、公共空間や私的空間の緑化推進などの事業や取り組みが計画的に推進されなくなる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 懇話会の委員謝金とパンフレットの印刷費のみの最低限の予算のため、削減はできない。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当初は業務委託を予定していたが、予算化出来なかったことから直営で計画の見直しを行っているため、これ以上の人件費削減は困難である。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 「緑の基本計画」は市域全体を対象とした計画であり、公平・公正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: _____

